

HP ProLiant DL145 Generation 2サーバ インストールシート



取り付けを開始する前に、
必ずこのカードをお読みください。

© Copyright 2005 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品の保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で 사용되는場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

HP ProLiant DL145 Generation 2サーバ インストール シート

初版（2005年3月）
製品番号 381743-191

サーバ各部の確認

フロント パネルの各部

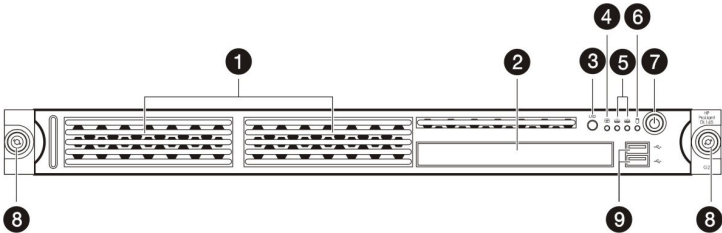


表-1：フロント パネルの各部

番号	アイコン	名称
1		ハードディスク ドライブ (HDD) ベイ
2		光学メディア デバイス ベイ
3	UID	LEDインジケータ（青色）付きユニット識別 (UID) ボタン
4		システムヘルスLEDインジケータ（黄色）
5		NIC1およびNIC2用動作/リンク ステータスLEDインジケータ（緑色）
6		HDD動作LEDインジケータ（緑色）
7		LEDインジケータ（2色：緑色/黄色）付き電源ボタン
8		フロントベゼル用つまみネジ
9		USB 2.0ポート

リア パネルの各部

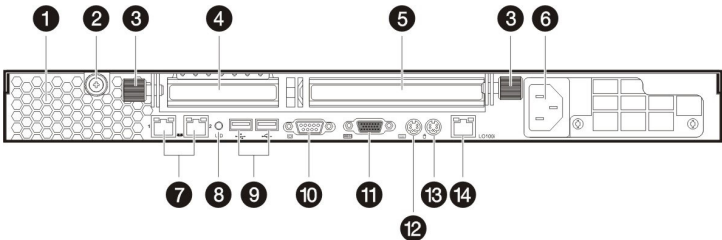



表-2：リア パネルの各部

番号	アイコン	名称
1		通気孔
2		トップカバー用つまみネジ
3		PCIライザボードアセンブリ用つまみネジ
4		ロープロファイル64ビット/133MHz PCI-Xライザボードスロットカバー
5		標準ハイト/フルレングス64ビット/133MHz PCI-Xライザボードスロットカバー PCI Expressライザボードオプションキットを使用すると、このスロットをPCI-XからPCI Expressに変換できます。
6		パワー サプライ ケーブル用ソケット
7		NIC1およびNIC2用GbE LANポート（RJ-45）
8	UID	LEDインジケータ（青色）付きUIDボタン
9		USB 2.0ポート（黒色）
10		ビデオポート（青色）
11		シリアルポート（青緑色）
12		PS/2キーボードポート（紫色）

続く

表-2：リア パネルの各部（続き）

番号	アイコン	名称
13		PS/2マウス ポート（緑色）
14	LO100i	IPMI管理用10/100Mbps LANポート（RJ-45）

注：3個のLANポートには、それぞれ、動作/リンク ステータスとネットワーク速度を示すLEDインジケータが付いています。

システム ボードの各部

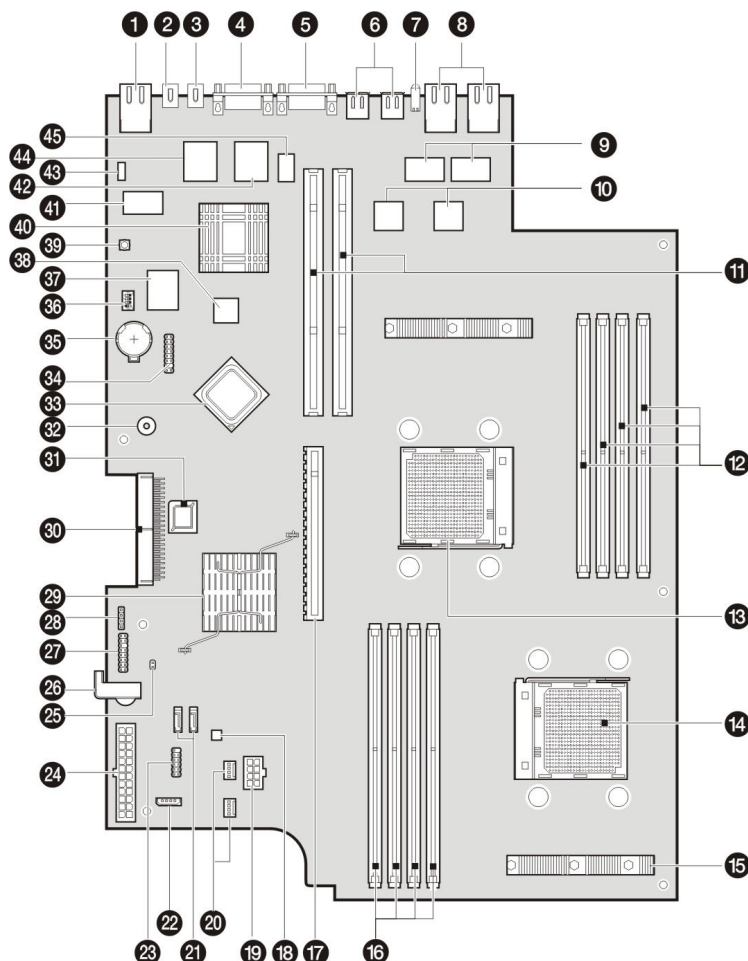


表-3：システム ボードの各部

番号	コンポーネント コード	名称
1	RJ1	IPMI管理用10/100Mbps LANポート
2	JK2	PS/2マウス ポート
3	JK1	PS/2キーボード ポート
4	CN13	シリアル ポート
5	CN9	ビデオ ポート
6	USB1および USB2	USB 2.0ポート
7	SW3	LEDインジケータ（青色）付きUIDボタン
8	LAN1および LAN2	NIC1およびNIC2用GbE LANポート
9	U20およびU27	Pulse H5007 XFORM 10/100 Base-T トランスフォーマ モジュール
10	U23およびU30	Broadcom BCM5721 NetXtreme Gigabit EthernetコントローラAおよびB

表-3：システム ボードの各部（続き）

番号	コンポーネント コード	名称
11	CN7およびCN8	64ビット/133MHz 3.3V PCI-Xスロット
12	DIMM1~DIMM4	プロセッサ1ソケット（U22）用DIMM スロット
13	U22	AMD Opteron 940ピン プロセッサ1ソケット
14	U11	AMD Opteron 940ピン プロセッサ2ソケット
15	-	システム ファン1~4用エアフロー レギュレータ
16	DIMM5~DIMM8	プロセッサ2ソケット（U11）用DIMM スロット
17	U42	PCI Express x16スロット
18	U46	Analog Devices ADM1026 ハードウェア モニタ チップセット
19	CN12	8ピンATXプロセッサ電源コネクタ
20	FAN5および FAN6	4ピン システム ファン コネクタ
21	SATA1および SATA2	7ピン150MB/秒SATAコネクタ
22	CN21	PSU用4ピンP ² Cコネクタ
23	CN28	フロントUSB2.0ポート用9ピンコネクタ
24	CN22	24ピンATXシステム ボード電源コネクタ
25	JP5	システム リセット
26	-	PCI固定用ブラケット
27	CN26	9ピンのフロント パネル ボード コネクタ
28	CN29	4ピンSCSIケーブルLEDコネクタ
29	U54	NVIDIA Crush K8-04 Professional MCP (Media and Communications Processor)
30	CN27	IDEデータ ケーブル コネクタ
31	U74	BIOSフラッシュEEPROM (Electrically Erasable Programmable Read-Only Memory)
32	BUZ1	内蔵スピーカー
33	U55	AMD-8132 HyperTransport PCI-X 2.0トンネル
34	CN25	LPCデバッグ コネクタ
35	BT1	3V内蔵リチウム システム バッテリ
36	SW2	システム コンフィギュレーション スイッチ (ディップスイッチ)
37	U79	SMSC LPC47M192 Super I/Oチップセット
38	U60	16MB DDR SDRAM
39	SW1	NMI（マスク不可能割り込み）スイッチ
40	U56	NVIDIA GeForce2 MX400 GPU (Graphics Processor Unit)
41	U82	SMSC LAN91C113i-NC LANコントローラ (10/100Mb/秒)
42	U52	BMCフラッシュEPROM
43	CN23	BMCデバッグ ポート
44	U67	QLogic Zircon UL BMC (Baseboard Management Controller)
45	U47	IC61LV25616-10T BMC SRAM

続く


サーバの設定ガイドライン


次の項で説明する各設定手順を実行する前に、次の重要なガイドラインに従ってください。


- 「サーバ設定の概要」の項の手順3に関連する安全についての情報および詳しい手順については、『HP ProLiant DL145 Generation 2 Server Maintenance and Service Guide』の第2章を参照してください。
- 「サーバ設定の概要」の項の残りの手順に関連する安全についての情報および詳しい手順については、『HP ProLiant DL145 Generation 2 Server User Guide』の該当する章を参照してください。
- このインストールシートに掲載されていない情報および最新情報については、HP ProLiant DL145 Generation 2 Server Support CDを参照してください。HPのWebサイト <http://www.hp.com/>（英語）に直接アクセスするかSupport CD経由でアクセスして、追加情報や資料を参照することもできます。

注：このインストールシートで説明する手順は、サーバがラック外の水平で安定した場所に置かれていることを前提としています。

重要：設定手順を実行する際は、以降の各項で説明する取り付け前と取り付け後の手順に従ってください。

 **注意：**ハードウェアコンポーネントを取り扱う際は、『HP ProLiant DL145 Generation 2 Server Maintenance and Service Guide』の第2章のESDに関する注意事項に従ってください。

 **警告：**サーバのカバーを開く前やハードウェアコンポーネントの取り外し/取り付けを行う前に、サーバの電源を正しく切っておかないと、装置が損傷したり、けがしたりすることがあります。

 **警告：**表面が熱くなっているため、やけどをしないように、本体および内蔵のハードウェアコンポーネントが十分に冷めてから手を触れてください。

サーバ設定の概要

ここでは、HP ProLiant DL145 Generation 2サーバに必要な設定手順の概要を説明します。ProLiant DL145 Generation 2サーバを稼働させるには、このセットアップ手順を実行してサーバを準備する必要があります。

- サーバを設置するのに適した場所を選定します。
- サーバとラックマウント用ハードウェアを開梱します。
- 他のオプション部品を取り付けます。
「他のオプション部品」には、増設メモリ、ハードディスクドライブ、拡張ボード、外付けストレージデバイスなどがあります。
- 電源コードおよび周辺装置を接続します。
- サーバの電源を入れて、BIOSのバージョンを確認します。
必要に応じて、BIOSバージョンを更新します。
- 選択したオペレーティングシステム（サポートされているOS）をインストールします。
手順について詳しくは、OSベンダの提供するマニュアルを参照してください。

注：ProLiantサーバでサポートされるオペレーティングシステムについては、HPのWebサイト <http://www.hp.com/go/supportos/>（英語）で確認してください。

- ラックレールを取り付けます。
- サーバをラックに設置します。
- サーバの管理機能を設定します。

手順について詳しくは、『Lights-Out 100i User Guide』を参照してください。

取り付け前と取り付け後の手順

取り付け前の手順

- サーバおよびサーバに接続されているすべての周辺装置の電源を切ります。
- 感電を防止するために、サーバのリアパネルのパワーサプライケーブルソケットからAC電源コードを抜き取ります。
- トップカバーを取り外します。

取り付け後の手順

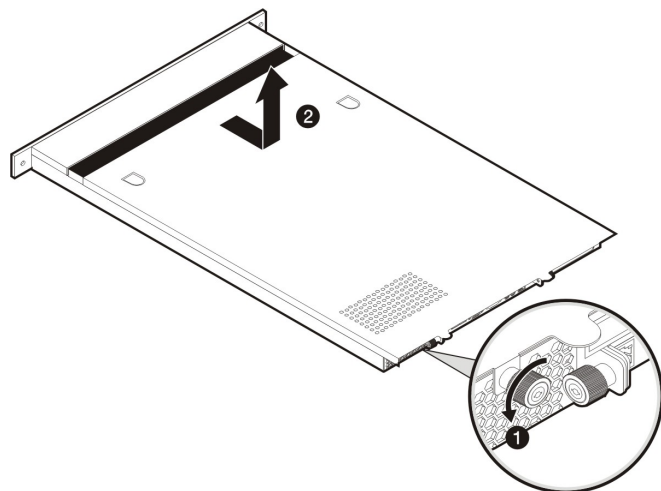
- すべてのコンポーネントが、説明されている手順に従って取り付けられていることを確認します。
- サーバ内に残っている工具や固定されないまま残っている部品がないかどうかを調べます。
- 取り外した拡張ボード、周辺装置、ボードカバー、およびシステムケーブルを取り付けなおします。
- トップカバーを元に戻します。
- すべての外部ケーブルとAC電源コードをシステムに接続します。
- フロントパネルの電源ボタン (⏻) を押して、サーバの電源を入れます。

サーバのカバーを開く

トップカバーは取り外しできます。サーバコンポーネントの取り外しや交換を行うには、このカバーを取り外す必要があります。

サーバのカバーを開くには、以下の手順に従ってください。

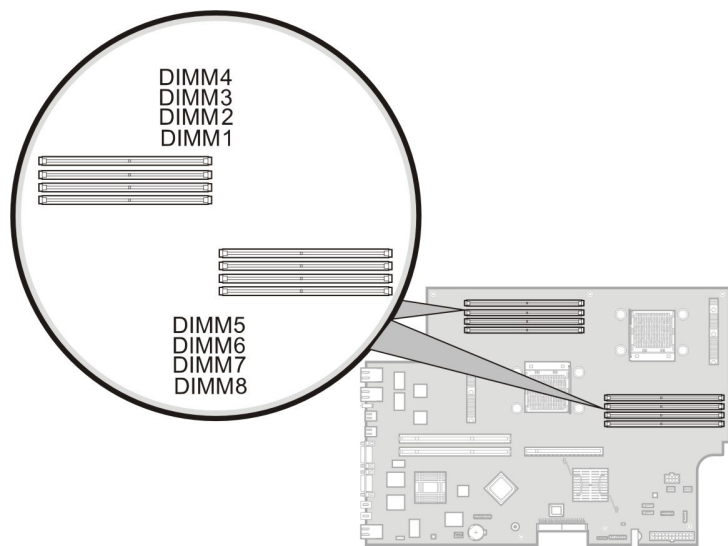
- 取り外し前の手順の1および2を実行します。
- 次の手順を実行して、トップカバーを取り外します。
 - リアパネルの固定用つまみネジを緩めます。
 - カバーをサーバの背面側に約1.25cmスライドさせてから持ち上げ、本体から外します。



- 後で取り付けることができるように、トップカバーを安全な場所に置いておきます。

メモリ モジュールの取り付け

システムには、DIMMスロットが8個あり、最大16GBのシステム メモリがサポートされます（各DIMMスロットに2GBを搭載可能）。



メモリ取り付けのガイドライン

メモリ モジュールを取り付ける際は、次の重要なガイドラインに従ってください。

- HPがサポートする、容量512MB、1GB、または2GBのPC3200（400MHz）レジスタ付きECC DIMM以外は使用しないでください。
- シングル プロセッサ構成では、プロセッサ1ソケット（U22）にプロセッサを取り付ける必要があります。
- メモリ モジュールをDIMM5～DIMM8スロットに挿入する前に、プロセッサ2ソケット（U11）にプロセッサを取り付ける必要があります。
- メモリ モジュールは、同じ容量のものを2枚1組で取り付ける必要があります。
- メモリ モジュールは、次の順序で取り付けます。
 - プロセッサ1ソケット用DIMMスロットの場合 - 最初にDIMM3と4、次にDIMM1と2
 - プロセッサ2ソケット用DIMMスロットの場合 - 最初にDIMM7と8、次にDIMM5と6

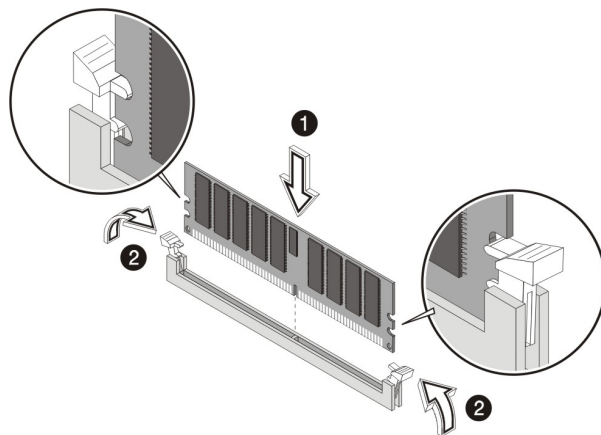
メモリ モジュールを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

- 前の項で説明した取り付け前の手順を実行します。
- DIMM5～DIMM8スロットにメモリ モジュールを取り付ける場合、まず、エア ダクトを持ち上げて本体から取り外します。
- 必要に応じて、DIMMスロットへのアクセスの障害となるアクセサリ ボードやケーブルを取り外します。
- システム ボード上の空きDIMMスロットの位置を確認します。
- 必要に応じて、選択したDIMMスロットの固定用クリップを開きます。
- メモリ モジュールを保護パッケージから取り出します。メモリ モジュールの端以外には触れないようにしてください。
- 次の手順を実行して、メモリ モジュールを取り付けます。
 - モジュール下端のノッチがDIMMスロットのキーの付いた部分と合うようにモジュールの向きを確認し、スロットに完全に押し込みます。

DIMMスロットは、モジュールが正しく取り付けられるように設計されています。メモリ モジュールをスロットに簡単に挿入できない場合は、挿入方法が間違っている可能性があります。モジュールの向きを変えて、挿入しなおしてください。

- 固定用クリップを内側にしっかりと押し込み、メモリ モジュールを固定します。

固定用クリップが閉じない場合は、モジュールが正しく挿入されていません。



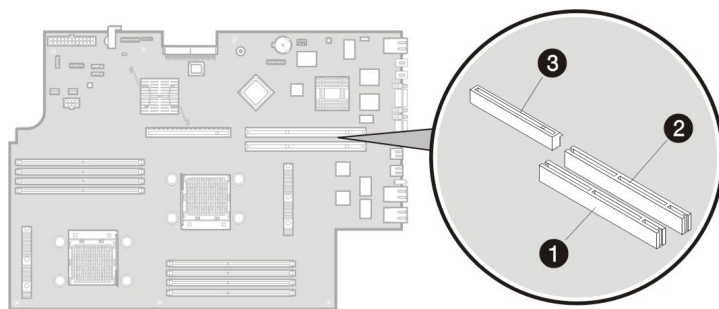
- 前の項で説明した取り付け後の手順を実行します。

PCI拡張ボードの取り付け

サーバI/Oシステムの概要

システム ボードのPCI拡張スロット

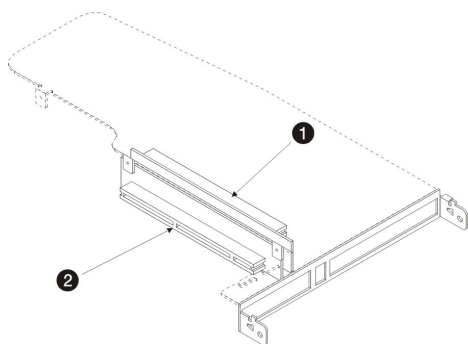
システム ボードには、PCI拡張スロットが3個あります。



番号	名称	機能
1	64ビット/133MHz PCI-Xスロット	ロープロファイル64ビット/133MHz PCI-Xライザ ボードをサポート
2	64ビット/133MHz PCI-Xスロット	標準ハイト/フルレンジ64ビット/133MHz PCI-Xライザ ボードをサポート
3	PCI Express x16 スロット	フルレンジPCI Express x16ライザ ボードをサポート

PCIライザ ボードの拡張スロット

PCIライザ ボード アセンブリには2枚のPCI-Xライザ ボードが付いています。このライザ ボードは、システム ボードの拡張スロットの機能を、システム ボードに対して90度の位置にある1組のスロットで使用できるように変換します。



番号	名称
1	標準ハイト/フルレングス64ビット/133MHz PCI-Xライザ ボード PCI Expressライザ ボード オプション キットを使用すると、このライザ ボードをPCI Expressモデルのボードと交換できます。 このオプションを使用すると、PCI Express x16拡張ボードを取り付けることができます。
2	ロープロファイル64ビット/133MHz PCI-Xライザ ボード

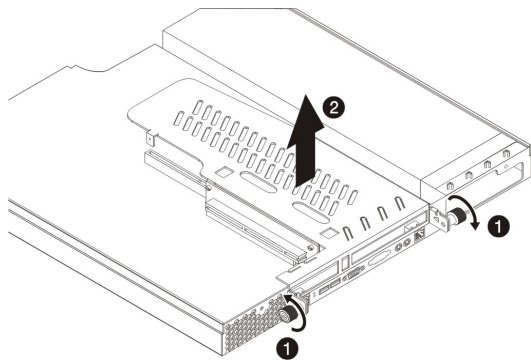
拡張ボード取り付けのガイドライン

システムは、同時に最大2枚の拡張ボードをサポートします。次の仕様を満たし、HPがサポートする拡張ボード以外は使用しないでください。

- PCIまたはPCI-X準拠
 - コネクタ：32または64ビット幅、3.3V
 - 速度
 - PCIボード速度：66MHz
 - PCI-Xボード速度：100または133MHz
 - フォーム ファクタ：ロープロファイルまたは標準ハイト/フルレングス ボード
- PCI Express x16準拠（オプションのPCI Expressライザ ボード取り付け時のみ利用可能）

PCI拡張ボードを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

1. 前の項で説明した取り付け前の手順を実行します。
2. 次の手順を実行して、PCIライザ ボード アセンブリを取り外します。
 - a. アセンブリを本体に固定している2本の固定用つまみネジを緩めます。
 - b. アセンブリを持ち上げて、本体から取り外します。



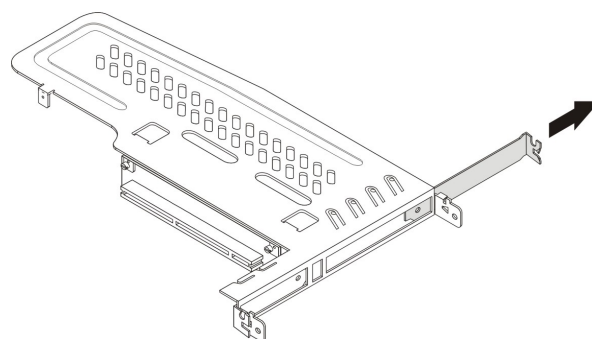
3. 取り付ける拡張ボードと互換性のあるスロットを確認します。

4. 選択したスロットからスロット カバーを引き出して取り外します。
カバーは後で使用できるように保管しておいてください。



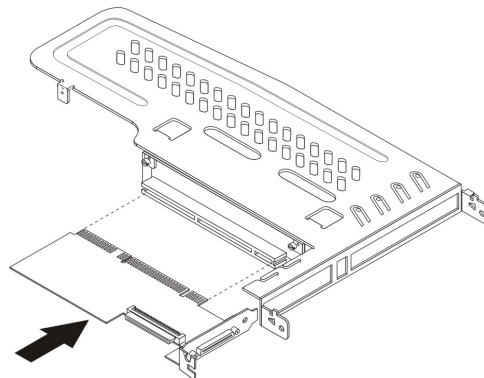
注意：スロット カバーを廃棄しないでください。将来、拡張ボードを取り外す際に、スロット カバーを再度取り付けて、冷却機構を正常に動作させなければなりません。

ロープロファイル拡張スロットのカバーを取り外す

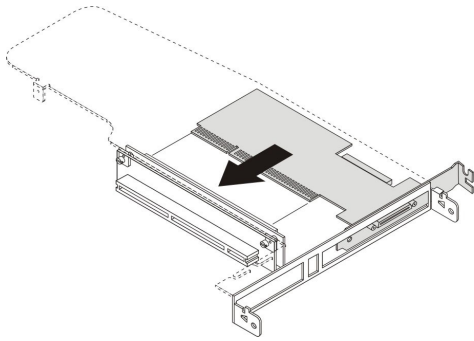


標準ハイト/フルレングス拡張スロットのカバーを取り外す

5. PCI拡張ボードを保護パッケージから取り出します。拡張ボードの端以外には触れないようにしてください。
拡張ボードには、一方のスロットにのみ取り付けられることができるタイプと両方のスロットに取り付けることができるタイプがあります。両方のスロットに取り付けることができるタイプは、ボードに付属のブラケットを別サイズのものとの交換することにより、両方のスロットに対応します。別サイズのブラケットとそのブラケットのボードへの取り付け方法のマニュアルは、オプション キットに入っています。
6. ボードに付属のブラケットに、選択したスロットの構成と互換性があるかどうか確認します。
互換性がない場合は、互換性のあるブラケットと交換してください。
7. 拡張ボードをスライドさせてスロットに挿入します。
ボードをしっかりと押し込んで、スロットに正しく固定します。



SCSIコントローラ ボードをロープロファイル拡張スロットに取り付ける



SCSIコントローラ ボードを標準ハイト/フルレングス拡張スロットに取り付け

8. ボードに必要なケーブルを接続します。
ボードに付属のマニュアルを参照してください。
9. 前の項で説明した取り付け後の手順を実行します。

ハードディスク ドライブの取り付け

サーバには、1インチ ハードディスク ドライブ ベイが2つあり、非ホットプラグ対応SCSIドライブとSATAドライブをサポートします。サーバには、出荷時に、ハードディスク ドライブが1台搭載されています。搭載されているドライブの種類と容量は、サーバのモデルにより異なります。ProLiantサーバは、現在、次のドライブ容量をサポートしています。

- | | |
|------------|------------|
| • SCSI HDD | • SATA HDD |
| — 36GB | — 80GB |
| — 72GB | — 160GB |
| | — 250GB |

SCSIドライブおよび80GB SATAドライブ オプションには、ハードディスク以外が入っていません。これらのドライブを取り付けるには、サーバに付属のHDDキャリアとマウント用ネジを使用してください。

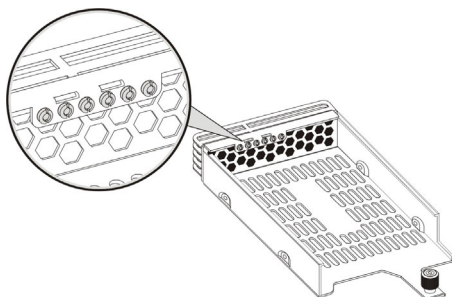
160GBと250GBのSATAドライブ オプションには、ホットプラグ対応HDDキャリアが入っています。ドライブをサーバに取り付けるには、事前に、出荷時に取り付けられているキャリアからドライブを取り外す必要があります。これらのドライブを取り付けるには、サーバに付属のHDDキャリアとマウント用ネジを使用してください。

サポートされているハードディスク ドライブの最新情報については、HPのWebサイト<http://www.hp.com/>（英語）にあるProLiant DL140 Generation 2サーバのオプション リストを参照してください。

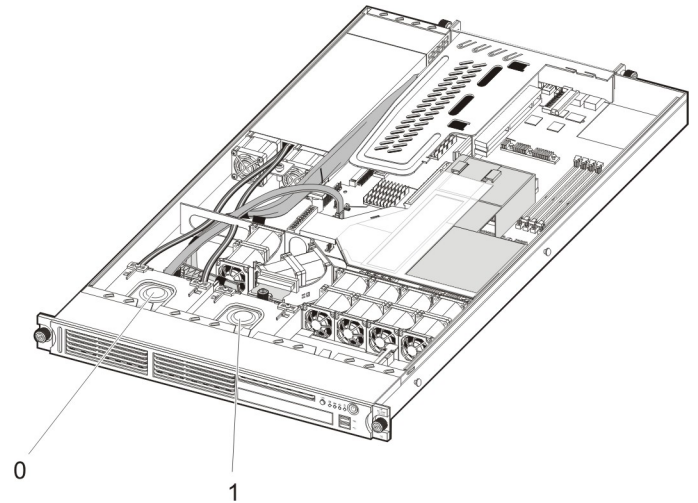
ハードディスク ドライブの取り付けガイドライン

ハードディスク ドライブを取り付ける際は、次の重要なガイドラインに従ってください。

- ProLiantサーバ用に指定されたハードディスク ドライブ モデル以外は使用しないでください。サポートしていないハードディスク ドライブを取り付けると、電力を消費し、サーバの動作の許容範囲を超える熱量が発生する場合があります。これによって、システムが損傷したりデータの整合性が失われたりする場合があります。
- サーバ本体に付属の2つのHDDキャリアには、それぞれ、6本のHDD用ネジがあらかじめ取り付けられています。このネジのうち4本を使用して、各ドライブ キャリアにハードディスク ドライブを取り付けます。



- サーバに取り付けられるハードディスク ドライブには、サーバ正面から見て左から右に、Device 0およびDevice 1のラベルが付けられます。

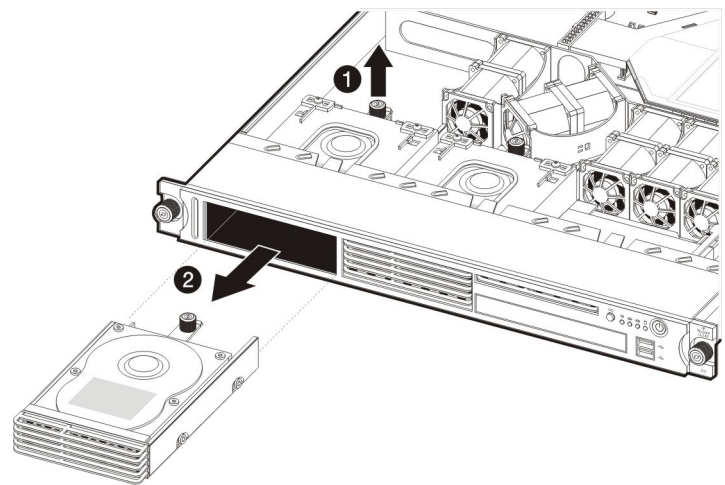


ハードディスク ドライブの取り外し

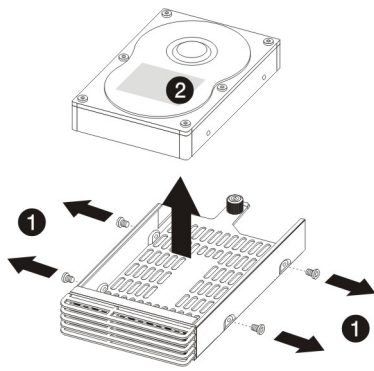
すでにハードディスク ドライブが取り付けられているベイに新しいハードディスク ドライブを取り付ける場合は、まず、古いドライブを取り外します。古いドライブから取り外したドライブ キャリアとネジは、新しいドライブの取り付けに使用します。

ハードディスク ドライブを取り外すには、以下の手順に従ってください。

1. 前の項で説明した取り付け前の手順を実行します。
2. データ ケーブルと電源ケーブルをハードディスク ドライブの背面から抜き取ります。
3. 次の手順を実行して、ハードディスク ドライブを本体から取り外します。
 - a. HDDキャリアを本体に固定しているネジを緩めます。
 - b. HDDキャリアを本体正面側に押し、完全にスライドさせて取り出します。



4. 次の手順を実行して、ハードディスク ドライブをキャリアから取り出します。
 - a. ハードディスク ドライブをキャリアに固定している4本のマウント用ネジを取り外します。
 - b. ハードディスク ドライブをキャリアから取り出します。



重要：ハードディスク ドライブを取り外して新しいドライブを取り付けない場合は、将来使用できるようにマウント用ネジを元の位置に取り付けてから、HDDキャリアを本体に取り付けなおして、システムが正しく冷却されるようにしてください。

SCSIハードディスク ドライブの設定

以下では、SCSIハードディスク ドライブの設定手順を簡単に説明します。

1. SCSIハードディスク ドライブを取り付けます。
2. SCSIコントローラ ボードを取り付けます。
手順について詳しくは、「PCI拡張ボードの取り付け」の項を参照してください。
3. SCSIドライブのケーブルを配線します。
手順について詳しくは、SCSIケーブル オプション キットに付属の『SCSIケーブル インストール手順』を参照してください。
4. SCSI構成をセットアップします。
手順について詳しくは、SCSIコントローラ ボードに付属のマニュアルを参照してください。

SCSIハードディスク ドライブを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

1. 前の項で説明した取り付け前の手順を実行します。
2. 新しいハードディスク ドライブを取り付けるドライブ ベイを選択します。

取り付け予定のドライブ ベイに別のドライブが取り付けられている場合は、「ハードディスク ドライブの取り外し」の項の手順に従って、取り付けられているドライブを取り外します。

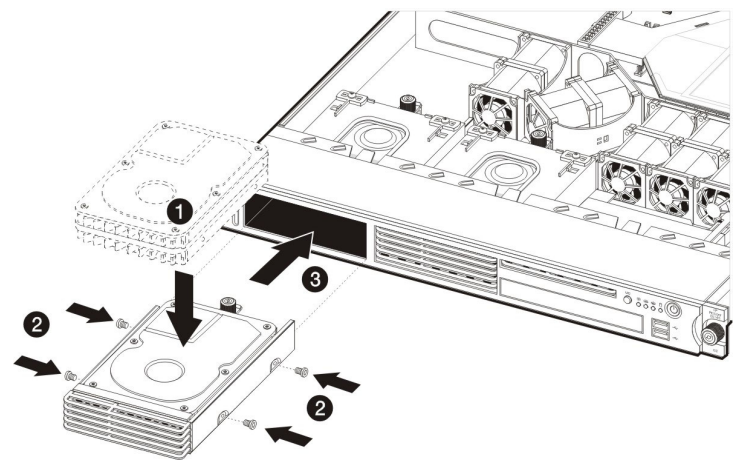
取り付け予定のドライブ ベイが空いている場合は、「ハードディスク ドライブの取り外し」の項の手順3を実行した後、HDDキャリアからマウント用ネジを4本取り外します。このネジは、新しいドライブの取り付けに使用します。

3. 次の手順を実行して、キャリアに新しいSCSIハードディスク ドライブを取り付けます。

以前にハードディスク ドライブが取り付けられていたドライブ ベイに新しいドライブを取り付ける場合は、古いドライブから取り外したHDDキャリアとマウント用ネジを使用してください。

空きドライブ ベイに新しいドライブを取り付ける場合は、そのドライブ ベイから取り外したHDDキャリアとマウント用ネジを使用してください。

- a. キャリア上で、新しいハードディスク ドライブの位置を合わせます。
- b. マウント用ネジを4本使用して、ハードディスク ドライブ アセンブリを固定します。
- c. ハードディスク ドライブ アセンブリを、本体にスライドさせて挿入します。



SATAハードディスク ドライブの設定

次の2つの手順で、SATAハードディスク ドライブを設定します。

1. SATAハードディスク ドライブを取り付けます。
2. SATA構成をセットアップします。

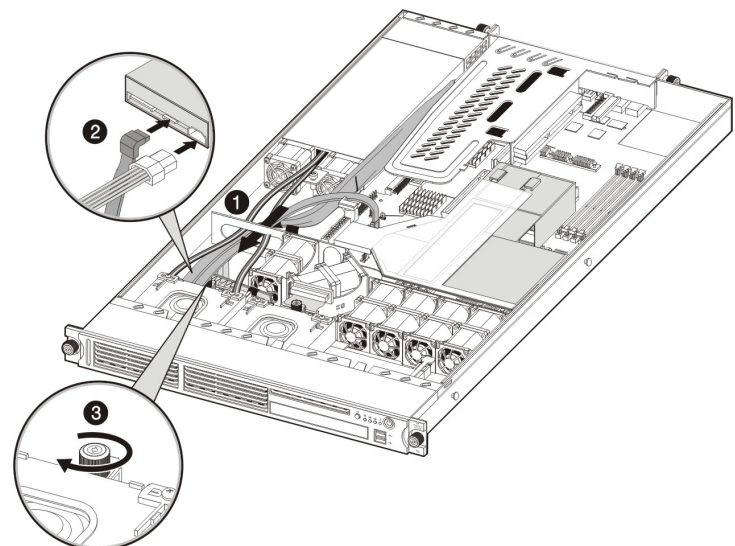
手順について詳しくは、Server Support CDまたはオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

SATAハードディスク ドライブを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

1. 「SCSIハードディスク ドライブを取り付けるには、以下の手順に従ってください」の項で説明した手順に従って、SATAハードディスク ドライブを取り付けます。

注意：SATAドライブのケーブルは整然と配線してください。必要に応じて、本体の基盤に取り付けられているケーブル クリップを使用してケーブルを固定してください。ケーブルがトップ カバーにはさまったり、トップ カバーによって折り曲げられたりすることのないように配線します。また、本体内部の通気を妨げることをないようにします。

2. 次の手順を実行して、SATAドライブのケーブルを配線します。
 - a. SATAケーブルおよび電源ケーブルを、本体の仕切り壁にあるケーブル管理用の開口部を通して配線します。
 - b. 新しいドライブの背面にある、対応するコネクタに、SATAケーブルおよび電源ケーブルを接続します。
 - c. ハードディスク ドライブ キャリアに接触しているケーブルがないこと、およびすべてのケーブルが対応するコネクタに正しく配線されていることを確認してから、ネジを締め、ハードディスク ドライブ アセンブリを本体に固定します。



3. 前の項で説明した取り付け後の手順を実行します。


オプションのCD-ROMまたはDVDドライブの取り付け

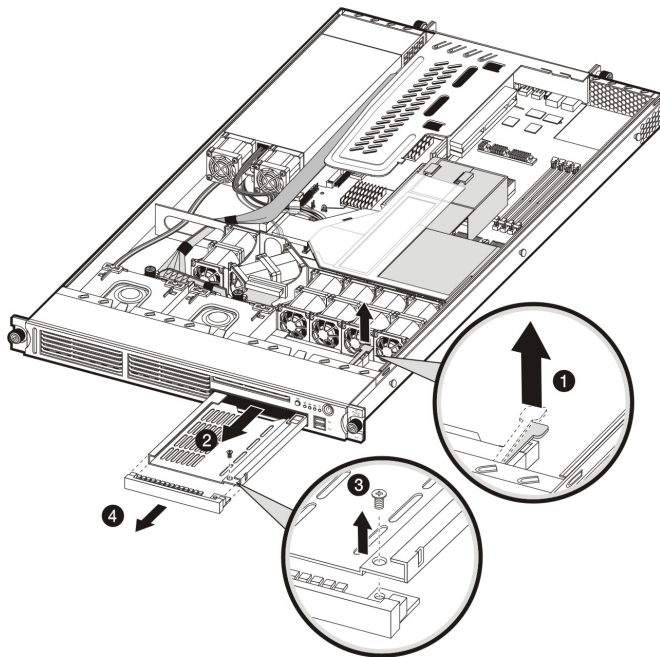
光学メディア デバイス ベイには、薄型のCD-ROMまたはDVD-ROMドライブを取り付けることができます。サポートされる光学メディア ドライブについては、HPのWebサイト<http://www.hp.com/>（英語）にあるProLiant DL140 Generation 2サーバ モデルのオプション リストを参照してください。

オプションのCD-ROMまたはDVD-ROMドライブを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

1. 前の項で説明した取り付け前の手順を実行します。
2. ドライブの取り付けができるように、光学メディア デバイス ベイを準備して、次の手順を実行します。
 - a. 光学メディア デバイス ベイのリリース レバーを引き上げ、本体の正面側にドライブ キャリアの一部を押し出します。
 - b. ドライブ キャリアを本体から引き出します。
 - c. ドライブ キャリア ベゼルを固定しているネジを取り外します。
 - d. ドライブ キャリア ベゼルを取り外します。

ドライブ キャリア ベゼルおよびベゼル用のネジは、後で取り付けできるように保管しておいてください。

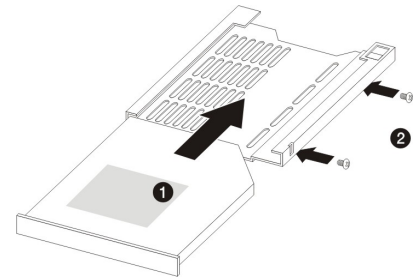
 **注意：**ドライブ キャリア ベゼルを廃棄しないでください。将来、光学ドライブを取り外す場合、システムの適切な通気のため、このベゼルを本体に取り付けなおす必要があります。



3. 新しい光学ドライブを、保護パッケージから取り出します。
光学ドライブ オプション キットには、ドライブの取り付けに使用するマウント用ネジが入っています。


4. 次の手順を実行して、新しい光学ドライブをキャリアに取り付けます。

- a. キャリア内で、光学ドライブの位置を合わせます。
- b. マウント用ネジを2本使用して、ドライブを固定します。

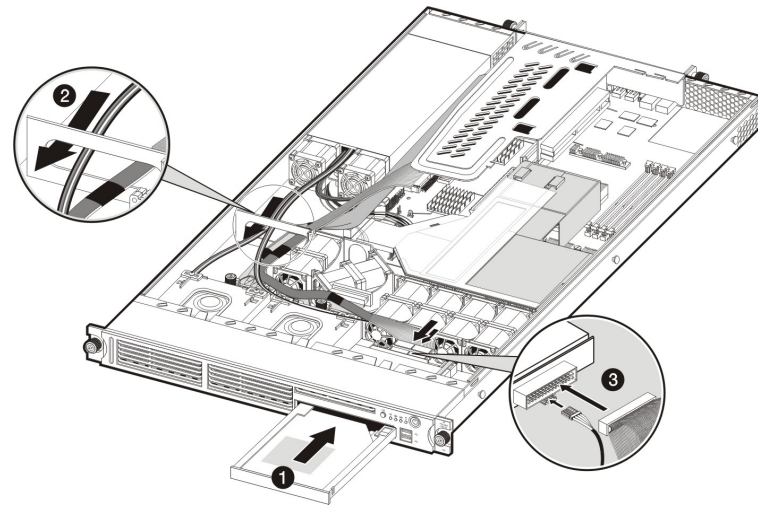


5. 次の手順を実行して、新しい光学ドライブを本体に取り付けます。

- a. 光学メディア デバイス ベイのリリース レバーがカチッと音がしてはまるまで、ドライブ アセンブリを本体に押し込みます。

 **注意：**光学ドライブのケーブルは整然と配線してください。必要に応じて、本体の基盤に取り付けられているケーブル クリップを使用してケーブルを固定してください。ケーブルがトップ カバーにはさまったり、トップ カバーによって折り曲げられたりすることのないように配線します。また、本体内部の通気を妨げることのないようにします。

- b. 光学ドライブの電源ケーブルを、本体の仕切り壁にあるケーブル管理用の開口部を通して配線します。
- c. 光学ドライブのバックプレーン ボードにある、対応するコネクタに、IDEケーブルおよび電源ケーブルを接続します。



6. 前の項で説明した取り付け後の手順を実行します。